

平成27年度後期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。およそ80%の回答をいただきました。皆様からのご意見、また児童へのアンケート結果、教職員の自校評価をふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

【アンケート方法】

前期同様、アンケートの項目を（１）学校教育に関すること （２）子どもの学校生活に関すること （３）家庭や地域での生活に関すること （４）PTA活動に関すること のグループに分け、それぞれの項目につき「重要度―実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度、実現度ともに高い項目は、比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

【アンケート結果より】

～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

【「よくできている」、「大体できている。」を合わせて「実現度」を表記しています。】

◆「（１）学校教育に関すること」の実現度について

		前期	後期
1	学校は、めざす学校像(学校愛・地域愛にあふれる学校,あたたかい言葉が学校中にあふれ確かな努力が見つけられる学校)に向かって努力している。	91.8%	94.3%
2	学校は、子ども一人一人を大切にした教育を進めている。	89.0%	90.2%
3	学校は、確かな学力をつけるための教育を進めている。	87.8%	89.8%
4	学校は、地域を大切にした教育を進めている。	94.7%	95.8%
5	学校に、気軽に相談ができる。	88.2%	95.0%
6	学校は、学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。	95.2%	98.1%

すべての項目に関しては前期よりも高い評価をいただきました。特に5の項目は前期と比べ高い評価をいただきました。子どもたちへの指導は担任が中心になりますが、担任以外の教職員も子どもたちのことを各担任と共有し見守るように心がけています。これからも子どもを真ん中に据えた教育を

進めていくことができるように、保護者や地域の方々と共に連携して、全教職員一丸となって取り組んでいきたいです。

◆「（２）子どもの学校生活に関すること」の実現度について

1 「あいさつできる子」に育っている。 (児童：自分からすすんであいさつをしている。) (教職員：気持ちよくあいさつする態度を育てている。)		前期	後期
	児童	90.2%	93.8%
	保護者	78.9%	83.0%
	教職員	45.5%	73.9%

『「子どもたちがあいさつしない。」という大人がいるが、子どもにさせることより大人が常に声をかけることが大切。小さな芽はきっと大人になった時、花が咲くでしょう。大切なのは子どもに注意することではなく、大人の笑顔と明るい声だと思う。』『あいさつができるのは良いことと思いますが、中にはそのことが難しいお子さんもおられることでしょう。そのような子どもたちの気持ちも理解し、それぞれの成長をじっくり見守ってくださる学校と地域であってほしいと願います。』（自由記述欄より）地域の見守り隊の方々は毎日子どもたちの様子を温かく見守ってくださっています。ご意見いただいたように、子どもたちの日々の様子を見守りながら教職員も笑顔と明るい声でこれからも子どもたちに声をかけていきたいです。



7 子どもは進んで本を読んでいる。 (児童：本を読んだり、本で調べたりすることが好きである。) (教職員：図書館を利用した取組をしている。)		前期	後期
	児童	80.0%	81.2%
	保護者	58.2%	62.6%
	教職員	59.1%	55.6%



『本の紹介コーナーがあったり、本に関わりをもつ機会をたくさん作ってくれていたりして、とても素晴らしいことだと思う。小学校に入学してから「どんな本を読んだ。」とかいろいろ話を聞くし、本に関心を持ってくれているのは先生方のおかげだと思う。』『読書の習慣を小学生のうちにつけることが大切だと思う。休み時間は外で遊ぶことが楽しいようで図書館に行く時間がないと言っている。(外で遊ぶことも大切だと思う。)週に一度ほど、朝や学活の時間を利用して「図書館へ行く時間」を作ってほしい。新しい本を読みたい気持ちはあるので、図書館へ行って図書にふれるきっかけを作ってほしい。』（自由記述欄より）子どもたちの多くは外に出て遊ぶことが大好きです。本を読むことも同じくらい大好きになるように、これからも図書環境の整備と充実を進めていきたいですし、あわせて図書館の活用も進めていきたいです。ご家庭でも一緒に読書する時間を設けたり、図書館に出かけたりして、本に親しむ機会を作っていただけると嬉しいです。

5「ねばり強く努力する子」に育ってきている。 (児童：がんばることを見つけて,努力している。挑戦している。) (教職員：何事にも挑戦しようとする態度が養えている。)		前期	後期
	児 童	90.1%	88.5%
	保護者	64.4%	72.3%
	教職員	90.9%	78.3%

『5年になり、自分の興味あることにはかなり詳しくなったり、専門的な知識を増やしたりする反面、苦手なものには取り組みにくいなど、好き嫌いがさらに出るようになった気がします。6年生になったら幅広い取組ができるようにと願います。』(自由記述欄より) 学年が進むにつれて取り組む内容は多岐にわたっていきますが、小学校ではいろいろな経験を積んでいくことが大切だと考えます。子どもたちが「やってみたい。」と思えるような取組をこれからも日々続けられるようにしたいです。

◆「(3) 家庭や地域での生活に関すること」の実現度

1 家庭では、家庭学習やゲームなど、時間を約束している。 (児童：家庭学習をする時間を決めて自分から取り組んでいる。)		前期	後期
	児 童	73.5%	80.2%
2 家庭での子どもの役割が決まっており、役割を果たしている。	保護者	66.8%	64.8%
		前期	後期
	保護者	50.5%	53.9%

前期同様に実現度が低かった項目です。学力の定着を図るためには家庭学習は欠かせません。『いろいろな宿題で子どもたちに刺激を与えてくださってありがとうございます。』(自由記述欄より) 学校からは、各学年に応じて家庭学習の課題を出しています。家庭で学習に向かう際には、テレビを消すなど、集中して学習に向かう環境をご家庭でも一緒に作り出していただけたいと思います。

『褒める教育、最近特にですが、子どもが学校で「褒められた!!」と自信に満ちて帰ってきます。小さなことでも次につながる一言、対応、ありがとうございます。』(自由記述欄より) ご家庭でも、子どもの家族の一員としての役割を決め、様々な場面で子どもたちがたくさんの経験を積んでいってほしいです。そして、その役割を果たせた時にはおおいに褒めていただき、また自信をもって新たな役割にチャレンジできるようにお声がけいただけたいと思います。

(自由記述欄より)

- ・参観日・学芸会などの親が学校に行く行事の時間の予定を、直前ではなくできるだけ早く知らせてほしい。あらかじめ段取りをしないと抜けたり休んだりできない働いている親のことを考えていただきたいと思います。

⇒年度当初の学校便りなどで年間行事の日程についてはお知らせするようにしていますので、ご確認くださいと思います。また、時間についてですが、参観日は5校時(13:50～14:35)に、懇談会は参観授業終了後に基本実施しています。また、運動会や学芸会などのプログラムについては例年同じ順で実施していますので、参考にしていただけたいと思います。

- ・子どものクラスの保護者と顔を合わせる機会が少ないように感じています。兄弟がいると懇談会が



同日設定のことが多いので、機会が2分の1、3分の1に減ってしまいます。保護者同士のネットワークもとても大事だと思います。学校の行事など目一杯で日程を組むのが難しいと思いますが、何とか工夫していただけたら嬉しいです。

⇒今年度は10月の参観の後、講演会を実施したために年度初めと年度末の2回だけの学級懇談会となりました。担任とクラスの保護者の方々が一緒になって子どもたちのことを交流する場は非常に大切ですし、検討していきたいと考えています。学校側としては、参観者はたくさん来ていただいているのですが、懇談会に残られる割合が少ないことを懸念しています。年に数回しかない機会ですので、お忙しいとは思いますが、懇談会までぜひ参加していただきますようお願いいたします。

- ・掃除・給食など様々なルールが守られていない子どもがいるとたびたび聞きます。授業の準備・後片付けなど、高学年になると上手に楽にと見えないところで様々なことがあると思います。真面目にしっかりしている子どもたちが伝えても変わらない現状を先生方に少しでもよい変化があるように、手助けしていただきたいと思います。

⇒学校は小さな社会です。その社会の中で子どもたちが気持ちよく過ごすことができるようにルールがあります。ルールを大切に、そして友だちを大切にできるよう、いろいろな場面で子どもたちに働きかけています。これからも、全教職員が同じスタンスで子どもたちへの指導をやりきることができるようにしていきたいです。



- ・「学校の校歌を歌うことがほとんどない。」と子どもが残念そうに話しているので、もう少し歌う機会を増やしてほしいです。

⇒月に一度の朝会の際に、全校合唱をしています。子どもたちの歌声は本当に素晴らしいです。校歌も同じように全校で歌えるととてもすてきなことだと思いますので、来年度歌う機会を設けていきたいです。

- ・体操服は長袖、長ズボンも販売し、上着を着られるのは「風邪気味の時」という制約をなくし、自分で調節できるようにしてほしいです。

⇒長袖タイプの体操服の販売ですが、業者に確認の上、来年度以降実施できたらと考えています。

- ・子どものことを親同等に見守ってくださっていると、入学以来ずっと感じています。錦林小学校で過ごした6年を支えに、中学校でも考えて悩んで笑って一生懸命に生きてくれることを願っています。学校の門をくぐると、あたたかで元気な雰囲気と空気を感じます。先生方と子どもたちが作り出しているのだと思います。

【お礼】 今回も多くのご意見をありがとうございました。温かいご意見をたくさんいただいたことは、教職員一同、大変励みになります。子どもたちが錦林小学校で過ごす日々が、より一層充実したものとなるよう、これからも全教職員で取り組んでいきたいです。個別に頂いたご意見につきましても、引き続き改善を図っていききたいと思います。今後も家庭・地域との連携を大切にしながら、錦林教育をよりよいものにしていきたいと考えております。より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。